

# 執筆者一覧

(50音順)

氏名	所属・職位	専門分野
影山 葉子	本学看護学科・助教	成人看護学
鈴木 俊文	本学社会福祉学科・講師	介護福祉学
立花 明彦	本学社会福祉学科・准教授	障害者福祉学
庭野 晃子	本学社会福祉学科・助教	家族社会学・保育学
松平 千佳	本学社会福祉学科・准教授	ソーシャルワーク
森 裕樹	本学社会福祉学科	心理学
森野 智子	本学歯科衛生学科・講師	老年歯科医学

## 業 績 一 覧

各科ごと 50 音順に掲載

(2011 年 1 月～12 月)

## 一 般 教 育 等

氏 名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備 考
内 藤 初 枝	「妊娠中の栄養素別摂取状況と母体の体重増加と出生児体重との関係」	『第 52 回日本母性衛生学会総会学術集会抄録集』（『母性衛生』 Vol.52 No.3） p.133 2011 年 9 月	共 著
林 恵 嗣	“Effect of CO <sub>2</sub> on the ventilatory sensitivity to rising body temperature during exercise.”	<i>Journal of Applied Physiology</i> Vol.110 No.5 p.1334-1341 2011	共 著 (筆頭)
	「食事誘発性熱産生が体温上昇に伴う換気亢進反応に及ぼす影響」	『第 25 回運動と体温の研究会プログラム・抄録集』 p.7 2011 年 9 月	共 著
	「「体温・体液調節」－「呼吸」 連関」	『第 66 回日本体力医学会大会予稿集』 p.105 2011 年 9 月	単 著
	「食事誘発性熱産生が暑熱下運動時における呼吸循環反応に及ぼす影響」	『体力科学』 Vol. 60 No.6 p.739 2011年12 月	共 著
野 嶋 秀 子	「ドデシル硫酸ナトリウム－ペンタデカフルオロオクタン酸ナトリウム混合界面活性剤のミセル形成熱 ～水の部分モルエンタルピーの影響～」	『第 34 回溶液化学シンポジウム講演予稿集』 p.58 2011 年 11 月	共 著
	「ドデシル硫酸ナトリウム－ペンタデカフルオロオクタン酸ナトリウム混合界面活性剤水溶液のミセル組成 II ～異なる温度におけるミセル組成～」	『第 34 回溶液化学シンポジウム講演予稿集』 p.59 2011 年 11 月	共 著
原 田 茂 治	「情報リテラシー教育に関する新入学生のアンケート調査」	『大学 ICT 推進協議会 2011 年度年次大会論文集』 D13 (3) 2011 年 12 月	共 著

## 看護学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
影山 葉子	“A Study of Nursing Students’ Difficulties in Establishing Relationships with Their Patients’ Families”	<i>The 3<sup>rd</sup> Korea-China-Japan Nursing Conference.</i> p.172-173 Oct. 2011	共著
	「医療現場における異文化コミュニケーション：研究上の注意点」	『異文化コミュニケーション学会第26回年次大会ワークショップ』p.20-21 2011年10月	共著
古賀 震	「第3世代のDIC診断基準作成へ／新しいマーカー SF/SFMC」	『臨床病理レビュー』 No.147 (特集「DIC-とびらを拓く第3世代へ-」) p.71-78 2011年2月	単著
	「凝固線溶系分子マーカーの解析と臨床的意義」	『第2回九州TTMフォーラム講演』p.30 2011年	共著
	「凝固系分子マーカーを用いた重症症例の解析」	『第11回TTMフォーラム講演』p.50 2011年	共著
	「凝固系分子マーカーを用いた重症症例の解析」	『第11回TTMフォーラム記録』p.133-137 2011年	共著
高林ふみ代	“Theanine intake improves the shortened lifespan, cognitive dysfunction and behavioural depression that are induced by chronic psychosocial stress in mice”	<i>Free Radical Research</i> Vol.45 No.8 p.966-974 2011	共著
	“Beta-cryptoxanthin, plentiful in Japanese mandarin orange, prevents age-related cognitive dysfunction and oxidative damage in senescence-accelerated mouse brain.”	<i>Biological &amp; Pharmaceutical Bulletin</i> Vol.34 No.3 p.311-317 2011	共著
深江久代	『2012年版保健師国家試験問題 解答と解説』	医学書院看護出版部編 医学書院 p.42-59, 146-154, 176-180 2011年4月	共著
前野真由美	「外国人のための無料健康相談と検診会－検診結果報告－」	『外国人のための無料健康相談と検診会－第13回報告集－』 p.7-13 2011年3月	共著
	「外国人のための無料健康相談と検診会－検診会受診者アンケート－」	『外国人のための無料健康相談と検診会－第13回報告集－』 p.14-15 2011年3月	共著
	「地域で支える外国人医療の課題」	『第25回日本国際保健医療学会東日本地方会』 p.27 2011年3月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
増田明美	“Investigation of changes in students' self-esteem by the experience of maternity nursing practicum and factors involved”	<i>Niigata Journal of Health and Welfare</i> Vol.10 No.1 p.11-18 2011.3	共著
	「大都市近郊の通信制高等学校生徒の生活実態と健康との関連」	『第30回日本思春期学会抄録集』 p.114 2011年8月27日	共著
	「看護者の流産後のケアと満足度に関する実態調査」	『第52回日本母性衛生学会学術集会抄録集』 Vol.52 No.3 p.279 2011年9月30日	共著

### 歯科衛生学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
有泉祐吾	「歯科衛生士の養成教育に関する研究－静岡県立と埼玉県立の2年制養成教育機関卒業生の卒業後実態調査の比較－」	『日本歯科医療管理学会雑誌』 Vol.46 No.2 p.97-104 2011年8月	共著
	「歯科衛生士養成臨床実習施設における歯科保存処置の現状－大学病院と一般歯科医院での術式・器具・材料・薬剤の比較－」	『日本歯科保存学会 2011年度春季学術大会（第134回）プログラムおよび講演抄録集』 p.147 2011年6月	共著
	「歯科衛生士養成教育における臨床実習について－学外診療補助実習における2年制と3年制の実習内容の比較－」	『第30回日本歯科医学教育学会総会・学術大会および記念大会プログラム・抄録集』 p.121 2011年7月	共著
	「歯科衛生士養成教育における臨床実習について－大学病院と歯科診療所の比較について－」	『第30回日本歯科医学教育学会総会・学術大会および記念大会プログラム・抄録集』 p.121 2011年7月	共著
海老名和子	「歯科衛生士養成教育における歯科用拡大鏡（ルーペ）の導入に関する実態調査」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No.1 p.138 2011年8月	共著
	「歯科診療補助における口腔内バキューム操作の現状」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No.1 p.172 2011年8月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
木林美由紀	“The Relationships among Child's Ability of Mastication, Dietary Behavior, and Physical Fitness”	<i>International Journal of Dental Hygiene</i> Vol.9 p.127-131 2011	単著
	「日本人と韓国人の咀嚼力の比較」	『日本健康教育学会』Vol.9 p.70 2011年6月	共著
	「韓国人の咀嚼力の実態と食行動、生活行動および運動能力との関連性」	『日本口腔衛生学会雑誌』Vol.61 No.4 p.499 2011年8月	単著
	「歯科衛生学科学生による地域歯科保健活動の取り組み」	『第75回全国学校歯科保健研究大会』p.76 2011年10月	単著
	“Action of the Community Dental Health Service by the Department of Dental Hygiene Students”	6 <sup>th</sup> ACOHPSC p.80 2011年11月	単著
	「地域歯科保健活動への参加が歯科保健意識に及ぼす効果」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』Vol.2 No.1 p.30 2011年11月	単著
	「みんなが楽しむマネジメント！」	『月刊・小児歯科臨床』Vol.16 No.1-Vol.16 No.3	単著
「今日から実践！デンタルスタッフのスキルアップ講座」	『月刊・小児歯科臨床』Vol.16 No.4-Vol.16 No.12	単著	
田中丸治宣	「歯科衛生士教育における要支援・要介護高齢者への口腔ケア教育の現状－全国大学歯科衛生士教育協議会加盟校における調査報告－」	『全国大学歯科衛生士教育協議会誌』No.5 p.21-27 2011年3月	共著
	「大学課程における歯科衛生士養成教育の質保証に関する研究(第1報)カリキュラムの現状」	『第30回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集』p.122 2011年7月	共著
	「大学課程における歯科衛生士養成教育の質保証に関する研究－臨地・臨床実習施設の現状－」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』Vol.2 No.1 p.50 2011年11月	共著
	「大学課程における歯科衛生士養成教育の質保証に関する研究－臨地・臨床実習の指導体制－」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』Vol.2 No.1 p.51 2011年11月	共著
中野恵美子	「歯科診療補助における口腔内パキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.6 No.1 p.172 2011年8月	共著
	「歯科衛生過程の教育法に関する予備的考察－第2報 教育導入後の現状と課題－」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』Vo.2 No.1 p.39 2011年11月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
中村和美	「臨床歯科衛生士における防災対策準備状況」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No. 1 p.110 2011年8月	共著
	「歯科衛生士養成教育における歯科用拡大鏡(ルーペ)の導入に関する実態調査」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No. 1 p.138 2011年8月	共著
	「歯科診療補助における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No. 1 p.172 2011年8月	共著
藤原愛子	「小学校低学年児童の齲蝕罹患と保護者の保健行動との関連」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No.1 p.34-42 2011年	共著
	「臨床歯科衛生士における防災対策準備状況」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No.1 p.110 2011年	共著
	「被災地歯科保健状態の回復に対する歯科衛生士の支援」	『第60回日本口腔衛生学会・総会プログラム集』 p.102 2011年	共著
	「小学生低学年の齲蝕罹患と保護者の保健行動との関連」	『日本健康教育学会誌』 Vol.19 p.51 2011年	共著
	「小学校高学年における首尾一貫感覚(Sense of Coherence ; SOC) ストレス対処行動・ストレス反応の関連構造」	『日本健康教育学会誌』 Vol.19 p.112 2011年	共著
	「母親が幼児に対して行っている食教育と母親が幼少期の家庭で受けた食教育との関連」	『日本健康教育学会誌』 Vol.19 p.113 2011年	共著
	「小学生の齲蝕予防行動の習慣化をめざした保護者参加型健康教育の効果」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.58 No.10 特別付録 p.384 2011年	共著
	「大学生における武道経験と心理社会的特性との関連」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.58 No.10 特別付録 p.226 2011年	共著
	「小学校高学年児童の首尾一貫感覚とサポート源・内容別ソーシャルサポートとの関連」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.58 No.10 特別付録 p.250 2011年	共著
	「地域高齢者における主観的健康観とソーシャルキャピタル、社会活動との関連」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.58 No.10 特別付録 p.346 2011年	共著
	「主観的表現から口渇を把握する指標の検討」	『第31回日本看護科学学会学術集会講演集』 p.237 2011年	共著
「歯科衛生過程の教育法に関する予備的考察 -第1報 用語に関する共通認識-」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』 Vol.2 No.1 p.38 2011年	共著	

氏 名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
藤原愛子	「歯科衛生過程の教育法に関する予備的考察 -第2報 教育導入後の現状と課題-」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』 Vol.2 No.1 p.39 2011年	共著
森野智子	「特集 今から取り組む, “超高齢社会適応型” 歯科衛生士 ～2011年をどんな形で患者さんとかかわりますか?～」	『月刊歯科衛生士』 Vol.35 p.31-32 2011年1月	単著
	「インプラント治療が施されている要介護者の実態調査と口腔ケアにおける問題点の抽出」	『平成22年度8020公募研究報告書抄録』 p.4 2011年4月	共著
	「わたしの Hygienist Road」	『月刊歯科衛生士』 Vol.36 p.22-23 2011年6月	単著
	「私の考えるプロフェッショナル」	『新聞QUINT』 2011年7月10日号 p.4	単著
	「歯科診療補助における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No.1 p.172 2011年8月	共著
	「要介護高齢者の嚥下機能低下が口腔衛生状況に及ぼす影響」	『口腔衛生学会雑誌』 Vol.61 No.4 p.457 2011年8月	共著
	「新たに開発した還元麦芽糖製の棒付き 鉛を用いた認知症高齢者への安全な経口 摂取訓練法」	『老年歯科医学』 Vol.26 No.2 p.158-159 2011年9月	共著
	「新たに開発した還元麦芽糖製の棒付き 鉛を用いた認知症高齢者への安全な経口 摂取訓練法 ～事例報告～」	『老年歯科医学』 Vol.26 No.2 p.159 2011年9月	共著
	「重度認知症の口腔原始反射の出現と摂食機能を含む身体状況・機能の関連性について」	『USフォーラム2011』 p.36 2011年9月	単著
山本智美	「歯科診療補助における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.6 No.1 p.172 2011年8月	共著
吉田直樹	「住民に対する歯周病予防と治療に関する意識向上の試み -歯周病に関するクイズを用いて-」	『日本歯周病学会会誌』 Vol. 53 春季特別号 p.102 2011年5月	共著

## 社会福祉学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
天野 ゆかり	「高齢者のポジショニングにおける教育プログラムの検討」	『第19回日本介護福祉学会大会発表報告要旨集』 p.64 2011年9月	共著
	「介護福祉士における倫理教育」	『日本生命倫理学会第23回年次大会予稿集』 p.70 2011年10月	単著
	「姿勢保持を目的とした介護用ポジショニングクッションの開発」	『静岡県工業技術研究所研究報告』 No.4 p.56-59 2011年9月	共著
漁田 俊子	「項目と背景写真の適合性が文脈依存再認弁別におよぼす効果」	『日本認知心理学会第9回大会発表論文集』 p.43 2011年5月	共著
	「楽曲の調性がBGM文脈依存効果に及ぼす影響」	『日本認知心理学会第9回大会発表論文集』 p.52 2011年5月	共著
	「口頭自由再生におけるビデオ文脈依存効果」	『日本認知心理学会第9回大会発表論文集』 p.59 2011年5月	共著
	「単語の色と提示位置が再認弁別におよぼす文脈依存効果」	『日本認知心理学会第9回大会発表論文集』 p.62 2011年5月	共著
	「環境的文脈依存再認におよぼす記銘材料の有意義性の効果」	『日本心理学会第75回大会発表論文集』 p.799 2011年9月	共著
	「口頭自由再生における匂い文脈依存効果」	『日本心理学会第75回大会発表論文集』 p.800 2011年9月	共著
木林身江子	「高齢者のポジショニングにおける教育プログラムの検討」	『第19回日本介護福祉学会大会発表報告要旨集』 p.64 2011年9月	共著
	「姿勢保持を目的とした介護用ポジショニングクッションの開発」	『静岡県工業技術研究所研究報告』 No.4 p.56-59 2011年9月	共著
佐々木 隆志	「第21回：イギリスにおける相談援助専門職」	『相談援助の基盤と専門職』（久美出版）第4章 p.194-203 2011年4月	共著
	「高齢者サービスのマンパワー対策と労働市場の多角的分析」	『科学研究費補助金研究成果報告書』（基盤研究(C) 課題番号：19530549) 2011年6月	単著
鈴木 俊文	「事例演習と共同学習を用いた生活支援技術（演習）の授業デザインとその可能性」	『介護福祉教育』No.31 p.44-52 2011年5月	共著
	「新潟県中越地震で被災した身体障害者療護施設の災害エスノグラフィー — ライフラインの損害程度と介護内容の実態を探る —」	日本社会福祉学会全国大会第59回秋季大会 2011年10月9日 障害(児)者福祉 <a href="http://www.gakkai.ne.jp/jsssw/59/">http://www.gakkai.ne.jp/jsssw/59/</a>	共著



氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
鈴木俊文	「介護職員の実践する「尊厳を支えるケア」の実践的展開とその様相－尊厳を支えるケア・阻害するケアの弁証法のプロセス－」	『日本認知症ケア学会誌－第12回日本認知症ケア学会プログラム抄録集－』Vol.10 No.2 p.334 2011年9月	単著
	「介護職員が認知症高齢者とのコミュニケーションにおいて経験している「不確かな感覚」」	『第12回日本認知症ケア学会大会事例検討会当日資料』p.1-7 2011年9月	単著
	「解釈的アプローチとしてのフィールドワーク マイクロエスノグラフィック手法－災害エスノグラフィックを書く－」	『質的研究のショーケース』日本福祉大学大学院公開ゼミナール受講のてびき p.70-93 2011年9月	単著
立花明彦	「点字は未来の扉を開ける鍵－中途視覚障害者のための点字入門－」	『にってんフォーラム』（日本点字図書館）No.80 p.7 2011年7月	単著
	「日本盲人図書館開館前後の史実に関する齟齬－“本間ノート”が示すもの」	『日本特殊教育学会第49回大会発表論文集』p.169 2011年9月	単著
	「新潟県中越地震で被災した身体障害者療護施設の災害エスノグラフィック－ライフラインの損害程度と介護内容の実態を探る－」	日本社会福祉学会全国大会第59回秋季大会 2011年10月9日 障害(児)者福祉 <a href="http://www.gakkai.ne.jp/jsssw/59/">http://www.gakkai.ne.jp/jsssw/59/</a>	共著
中澤秀一	「後期高齢者医療制度（長寿医療制度）」	『社会労働大事典』（旬報社）p.237 2011年2月	単著
	「後期高齢者医療制度廃止運動」	『社会労働大事典』（旬報社）p.238 2011年2月	単著
	「社会福祉事業法等8法改正」	『社会労働大事典』（旬報社）p.371 2011年2月	単著
	「社会保険庁改革関連法」	『社会労働大事典』（旬報社）p.371 2011年2月	単著
	「社会保障改革大綱」	『社会労働大事典』（旬報社）p.371 2011年2月	単著
	「社会保障構造改革推進本部」	『社会労働大事典』（旬報社）p.372 2011年2月	単著
	「社会保障構造改革の方向（中間まとめ）」	『社会労働大事典』（旬報社）p.372 2011年2月	単著
	「社会保障国民会議」	『社会労働大事典』（旬報社）p.372 2011年2月	単著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
中澤 秀一	「社会保障の『5つの安心プラン』」	『社会労働大事典』（旬報社）p.373 2011年2月	単著
	「社会保障の在り方に関する懇談会」	『社会労働大事典』（旬報社）p.373 2011年2月	単著
	「社会保障有識者会議」	『社会労働大事典』（旬報社）p.373 2011年2月	単著
	「課題と展望について」	『しずおかの国保』 No.360 p.6-7 2011年3月	単著
	「静岡県最低生計費試算調査結果 -50代夫婦+未婚子2人の結果」	『所報』（静岡県労働研究所）No.20 p.14-56 2011年4月	単著
	「学部別にみた大学生の労働組合観」	『労働総研クォーターリー』 No.82 p.46-53 2011年5月	共著
	「社会保障政策」	『日本労働年鑑』（旬報社）第81集 p.382-392 2011年6月	単著
	「静岡県最低生計費試算調査結果 -50代夫婦+未婚子2人世帯について」	『労働総研クォーターリー』 No.83 p.38-49 2011年8月	単著
	「静岡県最低生計費試算調査結果 -30代女性+未婚子の結果」	『所報』（静岡県労働研究所）No.21 p.29-47 2011年11月	単著
松平 千佳	「現代版マーケット・バスケット方式による貧困の測定」	『貧困研究』 Vol.7 p.75-82 2011年11月	単著
	「生活福祉資金貸付制度」	『ソーシャルワーク・スキルの言語化 -事例に学ぶ社会福祉協議会のスキル』（東海北陸ブロック社会福祉実習研究協議会） p.125-126 2011年12月	単著
	「病児を支援する Hospital Play Specialist の役割について」	愛育ねっと 2011年2月号 <a href="http://www.aiikunet.jp/exposion/manuscript/1912.html">http://www.aiikunet.jp/exposion/manuscript/1912.html</a>	共著
「すべての子どものために、すべては子どものために」		『こども環境学研究』 Vol.7 No.1 p.20 2011年8月	単著
「病児とそのきょうだい及び母親に対するHPSの支援 -脳腫瘍を発症した男児の事例を通して-」		『こども環境学研究』 Vol.7 No.3 p.53-57 2011年12月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
松平千佳	「体系的なHPS養成教育プログラムの開発」	平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラム 2011年1月24日 <a href="http://gp-portal.jp/src/ippan/shoukaiPage.cfm?id=1243">http://gp-portal.jp/src/ippan/shoukaiPage.cfm?id=1243</a>	共著
	「子どもの福祉に立脚した小児医療チームの一員として働く専門職の養成を目指して」	『日本医療保育学会第15回大会発表抄録集』 p.56 2011年6月5日	単著
	「子どもの命を輝かせる「遊び」の保障ー子どもにやさしい医療の実現を目指してー」	『第58回日本小児保健協会学術集会講演集』教育講演5 2011年9月2日	単著
	「小児医療におけるHospital Playの導入と課題」	『第8回子ども学会議学術集会大会プログラム』 p.34 2011年10月1日	単著
	「ホスピタル・プレイ・スペシャリストの専門性についてープレイ・プログラムの分析から見るHPSのアセスメントー」	日本社会福祉学会第59回秋季大会 医療保健・医療福祉 2011年10月9日 <a href="http://www.gakkai.ne.jp/jsssw/59/">http://www.gakkai.ne.jp/jsssw/59/</a>	単著
	「Hospital Play Specialistの役割と目的ー子どもの命を輝かせる遊びの必要性ー」	『第11回癒しの環境研究会全国大会(京都大会)プログラム』 p.26 2011年12月3日	単著
	「日本におけるホスピタル・プレイとその養成活動」	『こども環境学会2011年度集会 当日プログラム』 A7-29 2011年12月11日	共著
	『平成22年度大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム事業成果報告書「体系的なHPS養成教育プログラムの開発」	静岡県立大学短期大学部 2011年6月 <a href="http://bambi.u-shizuoka-ken.ac.jp/hps_site/pdf/09siryou/H22_report.pdf">http://bambi.u-shizuoka-ken.ac.jp/hps_site/pdf/09siryou/H22_report.pdf</a>	共著
	「被災した子どもへの思いをカタチにする支援」	『こども環境学研究』 Vol.7 No.2 p.67 2011年8月	単著
	「遊びを強力で特別な薬に変える！ホスピタル・プレイ・スペシャリストの普及を！」	『外来看護』 Vol.17 No.1 p.78-79 2011年10月	単著
	「遊びを強力で特別な薬に変える！ー提唱 ホスピタル・プレイ・スペシャリストを養成ー」	『こどもケア』 Vol.6 No.4 p.96-97 2011年10月	単著
	「遊びを使って支援するホスピタル・プレイー子どもにやさしい医療を目指して」	『こどもケア』 Vol.6 No.5 p.1-5 2011年12月	単著

## 平成 23 年度：外部資金採択一覧

### ■研究機関選択

事業名	大学教育・学生支援推進事業【テーマ A】大学教育推進プログラム
プログラム名称	体系的な HPS 養成教育プログラムの開発
担当者	松平千佳、江原勝幸、立花明彦、吉田直樹
事業期間	平成 21 年度－平成 23 年度
委託費	平成 23 年度 12,000,000 円

### ■科学研究費補助金

<新規>

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題	配分額(円)
若手研究(B)	研究代表者	一般教育等・講師	垣口由香	ベケット文学における「歓待」	1,170,000
基盤研究(C)	研究分担者	一般教育等・講師	内藤初枝	低出生体重児の増加および母体の体重増加に及ぼす妊婦の栄養状態に関する縦断的研究	200,000
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・教授	佐々木隆志	介護老人福祉施設における終末ケア全国実態調査研究	1,040,000
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・准教授	松平千佳	子どもにやさしい医療を創造するためのホスピタル・プレイに関する研究	1,170,000

<継続>

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題	配分額(円)
若手研究(B)	研究代表者	一般教育等・講師	林 恵嗣	暑熱下運動時に特有な換気亢進反応のメカニズムの解明	2,470,000
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・教授	漁田俊子	自由再生において単純および複合環境情報が引き起こす文脈依存効果の実証的比較研究	700,000
基盤研究(C)	研究分担者	社会福祉学科・教授	漁田俊子	再認における環境文脈依存効果の再検討：複合場所文脈と様々な環境情報との比較	200,000
基盤研究(C)	研究代表者	看護学科・講師	今福恵子	小地域における難病患者災害支援マニュアルの開発	600,000

種 目	研究者区分	所属・職名	氏 名	研 究 課 題	配分額(円)
基盤研究(C)	研究代表者	看護学科・准教授	増田明美	保健問題を抱える通信制高等学校生徒への保健支援プログラムの開発	260,000
基盤研究(C)	研究代表者 研究分担者 研究分担者	社会福祉学科・准教授 社会福祉学科・講師 社会福祉学科・講師	立花明彦 濱口晋 鈴木俊文	高齢者等災害弱者への災害時における介護保障に関する調査・研究	900,000
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・教授	三富道子	イギリスの認知症ケアの職業資格と訓練効果に関する研究	1,040,000

### ■その他の研究助成

研究者区分	所属・職名	氏 名	研究助成者	研 究 課 題	助成金額(円)
研究代表者	看護学科・助教	影山葉子	公益財団法人 トヨタ財団	看護ケアからみえる家族の代替可能性 (平成22年11月～平成24年10月まで継続)	2,400,000
研究分担者	社会福祉学科・講師	鈴木俊文	社会福祉法人 白 翁 人 会	社会福祉法人白翁会における利用者サービスの向上を図るための方策	150,000

### ■奨学寄付金

研究者区分	所属・職名	氏 名	寄付申込者	研 究 課 題	寄付金額(円)
奨学寄付金	看護学科・教授	古賀 震	公益財団法人SBS静岡 健康増進センター 理事長	検査と病態解析に関する研究(継続)	705,000

## 静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則

平成 21 年 7 月 1 日 細則第 40 号

改正 平成 23 年 1 月 11 日

### (目的)

第 1 条 本学における学術研究（調査などを含む。）の成果を発表するために、静岡県立大学短期大学部研究紀要（以下「紀要」という。）を刊行する。

### (原稿の種別)

第 2 条 紀要に掲載する研究成果は、次のものとする。

- (1) 未発表（口頭発表を除く。）の研究論文、調査報告、短報など
- (2) 総説、資料など
- (3) 発行年度 12 月末までの 年間の研究成果で、紀要以外に発表したものの一覧
- (4) その他図書館・紀要委員会（以下「委員会」という。）が掲載の必要を認めたもの

### (投稿者の資格)

第 3 条 紀要に研究成果を発表する資格を有する者は、次の者とする。ただし、本学専任教員との共同執筆の場合はこの限りではない。

- (1) 本学の専任教員
- (2) その他委員会で認められた者

### (刊行)

第 4 条 紀要は、原則として冊子号、Web 号の各号を毎年度 1 回、3 月末日までに刊行する。

### (原稿の作成)

第 5 条 原稿は、別に定める執筆要領を基本として作成する。

- (1) 冊子号の原稿提出にあたっては、原稿本文に原稿を保存した電子媒体を添付する。Web 号原稿は、PDF ファイル形式で提出する。
- (2) 委員会は、執筆者に原稿の加除修正を求めることができる。

### (原稿の受理)

第 6 条 紀要の原稿の受理は、次のとおりとする。

- (1) 原稿の受理は、図書館・紀要委員長が総括する。
- (2) 受理日付を記載する。
- (3) 締切り月日は、委員会の指定する日とし、同日より後の受理原稿は、次年度に掲載する。
- (4) Web 号の原稿は、完成された投稿原稿のみを受理する。

### (編集)

第 7 条 冊子号の編集は、次のとおりとする。

- (1) 原稿の掲載順は、代表著者の所属学科により、次の順とする。  
①一般教育等 ②看護学科 ③歯科衛生学科 ④社会福祉学科 ⑤年度内業績一覧  
ただし縦組みの分は、別に一括し、その中で上記の順による。
- (2) 各学科等のなかの掲載順は、代表著者氏名の 50 音順とする。
- (3) 校正は、原則として執筆者が行う。
- (4) 印刷部数は、発行の都度必要に応じて委員会で決定する。

2 Web号紀要の原稿の掲載順は、原稿受理日順とする。

(配布)

第8条 冊子号の配布は次のとおりとする。

(1) 贈与

次の者に、紀要の本冊ないし抜き刷りを贈与する。

①執筆者 本冊1部、抜き刷り50部

②本学専任教員 本冊1部

③その他紀要委員会で認めた者

(2) 交換

内外の諸研究機関と紀要、研究誌の交換を行う。

(3) 頒布

①頒布希望者には、部数に余裕のある場合に限り、本冊を頒布する。

②論文執筆者が、本条(1)の①を超えて本冊又は抜き刷りをあらかじめ請求するときは、実費を本人負担のうえで増刷する。

(保管)

第9条 紀要の保管は、図書館で行う。

(倫理的配慮)

第10条 人及び動物を対象とした研究については、倫理的に配慮した旨を本文中に明記しなければならない。

(著作権)

第11条 掲載論文の著作権は、著者に帰属する。ただし、著者は、静岡県立大学短期大学部が投稿論文を印刷物として発行し、Web上で公開することを許諾する。

附 則

(施行期日)

1 この細則は、平成21年7月1日から施行する。

(静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則の廃止)

2 静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則(平成19年4月1日 細則第53号)は、廃止する。

附 則

この細則は、平成23年1月11日から施行する。

## 編 集 方 針

「静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則」に準拠して【研究紀要】を編集した。

---

---

# 静岡県立大学短期大学部研究紀要 第25号

---

---

2012年3月26日発行

発 行：静岡県立大学短期大学部

〒422-8021 静岡県静岡市駿河区小鹿2丁目2番地1号

(電話) 054-202-2600 (代表)

(電話) 054-202-2617 (附属図書館)

(FAX) 054-202-2620 (附属図書館)

編 集：図書館・紀要委員会

委員長 原田 茂治 (一般教育等)

委 員 内藤 初枝 (一般教育等)

委 員 永野ひろ子 (看護学科)

委 員 海老名和子 (歯科衛生学科)

委 員 鈴木 俊文 (社会福祉学科)

印 刷 所：創文社印刷株式会社

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄2丁目7番16号

(電話) 054-265-0870

(FAX) 054-265-2180